

高校生のためのプログラム開発（公募形式）

令和元年度 気ままにセミナー

「Let's think 人生すごろく」&「大切にしよう、自分のこと」

実施報告書

日時：8月18日（日） 14:00～16:30

場所：八幡西生涯学習総合センター 大会議室（JR黒崎駅横コムシティ 3階）

講師：北九州市立大学教授 眞鍋 和博氏

臨床心理士 黒瀬 まり子

主催：八幡西生涯学習総合センター/アジア女性交流・研究フォーラム

企画・運営：北九州市立大学 地域創生学群 眞鍋ゼミ

参加者：高校生37名（公募：自由ヶ丘高校、北筑高校、小倉南高校、星琳高校、
八幡南高校、常磐高校、折尾高校、北九州市立高校ほか）

実施内容について：

【第1部：「Let's think 人生すごろく」】 14:00～15:59

今回、KFAWは、八幡西生涯学習総合センターとともに、高校生が課題体験型のゲームを通じて、大学生と一緒に「SDGsとジェンダー平等」を考えるためのセミナーを開催した。企画・運営は、北九州市立大学地域創生学群の学生が行い、3者それぞれの強みを活かした効果的な運営を行うことが出来た。

セミナーは、高校生を6班に分け、3人で1チームとし、各班2チームで「人生すごろくゲーム」を進めるゲームで、各班に2名の大学生がファシリテーターとして進行管理や議論の提議などを行った。

グループワークを通じて、①SDGsへの理解を深める ②コミュニケーションを通じて自己理解・他者理解を深めることを目的にプログラムを構成した。途中、BGMを効果的に使用したり、「ポイント・ゲットチャンス」の時間を設けたりして、会場全員で考えたり議論したりする時間も設け、会場全体が盛り上がりあつという間の2時間だった。

ゲーム終了後、眞鍋教授によるSDGsへの理解を深めるための講義では、日本では、ゴール5のジェンダー平等、特に政治・経済の分野において、世界と比較して非常に遅れていること、これからの高校生がそれらを変えていく存在であること、そのために日頃から身の回りの課題を収集する情報収集力、課題発見能力、それらを表現するコミュニケーション能力（特に、聴く力）が必要であることが言及された。

アンケートには非常に高い満足度を示すコメントが並び、参加型の手法や大学生の果たした役割が効果的だったことが伺えた。また、自由記入欄には、『自分は、「ジェンダー平等」について深く考える機会はありませんでしたが、今回ゲームを通じて改めて考えてみると、自分の身の回りにも様々なジェンダーに関わる問題がたくさんあることに気づいた』という感想も多く、世代の近い大学生や他校の高校生とのコミュニケーションを通じてそれぞれが「ジェンダー平等」を考える良い機会になったものと思う。



【 第 2 部 : 「大切にしよう、自分のこと」 】 16:00~16:30

ムーブ情報課では、デートDVと性暴力をテーマとした若者向けの啓発冊子「大切にしよう、自分のこと」を平成31年3月に発行し、学校等各方面から副読本として活用したいとの要望が多く寄せられ、増刷も行ったところである。

今回、様々な学校の高校生が多数参加する機会をとらえ、啓発冊子の監修を行っていただいた臨床心理士の黒瀬まり子氏を講師に迎え、高校生たちに被害にあわない、そして加害者にならないための心構えを伝えるだけでなく、将来への自分自身の生き方について考えてもらうミニ講座を実施した。

アンケートでは、講師の話が分かりやすく理解が深まり、高い満足度が得られたとの回答が多く寄せられた。黒瀬氏の優しく語り掛けるような話の中にちりばめられた様々な「気づき」の言葉や生きるためのヒントを高校生たちはしっかりと受け止めてくれたようである。

